

出雲市スポーツ推進委員だより

第3号（平成25年9月）

出雲市スポーツ推進委員の皆様へ

出雲市役所文化スポーツ課長 森広 智



この度は、平成25・26年度のスポーツ推進委員を受嘱いただき誠にありがとうございます。

昨今、社会の急激な変化に伴い、地域スポーツの振興がこれまで以上に重要となってきております。

平成23年6月には「スポーツ基本法」が成立し、その前文に「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とのスポーツ権が謳われ、「スポーツ立国の実現を目指す国家戦略としてのスポーツ推進」が位置付けられました。

こうしたスポーツ関連の法整備に伴い、スポーツ推進委員に求められる役割の重要性や資質の向上が求められております。2年間という短い期間ではありますが、職務を全うしていただき、出雲市のスポーツ振興にご尽力いただきますよう、よろしくお願いします。

■スポーツ推進委員の期待像

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）（スポーツ推進委員）

第三十二条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあっては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則（特定地方公共団体にあっては、地方公共団体の規則）の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。

3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。

- 地域スポーツの環境づくりのキーマンとして、社会構造、生活の態様、指導者の種類等、生活の取り巻く環境やスポーツ界の変貌について、共通の認識や資質の向上（研修会、講習会、セミナー、メディア等）
- 地域住民へのプログラムの提供（ニュースポーツ、子どもの体力向上等）
- 高齢者のための運動習慣の生活指導（介護予防策）

出雲市スポーツ推進委員委嘱式

4月10日、出雲市役所くにびき大ホールにて25年度スポーツ推進委員委嘱式が行われた。

新しく65名の委員を代表して新人の森山尚さんと高橋詠さんに委嘱状が交付された。

また、30年以上にわたり委員として活躍（22年文部科学大臣表彰受賞）し、今回辞職された前副会長の春日茂氏に出雲市より感謝状が贈呈された。

曾田俊彦文化環境部長が、推進委員もコーディネーターとしての役割が明文化され、地域住民のニーズや課題に応え、生涯スポーツの推進役を期待していると激励された。それに答えて推進委員を代表して森本敏雄会長が、人数は65名と少なくなったが、地域スポーツの為に全員で一丸となって知恵を出し、協力して推進委員に求められている役割を充分理解して頑張ると力強く決意表明した。

その後、協議会の総会があり、25年度の活動予定や研修会予定が報告され、25年・26年度の役員も決定した。



委嘱状交付



感謝状贈呈



決意表明

平成25・26年度 出雲市スポーツ協議会役員

役職	支部	氏名	部会	出雲地区役職	県役職
会長		森本 敏雄		会長	副会長・表彰委員
副会長 (支部長)	出雲 平田 佐田 多伎 湖陵 大社 斐川	土江 孝夫 飯塚 克己 岩崎 貢 持田 透 立花 順心 久家 彰 久野 晴見	広報部 事業部 事業部 事業部 事業部 広報部 広報部	理事 監事	評議員・広報委員 評議員
代議員	出雲 平田 佐田 多伎 湖陵 大社 斐川	佐々木 由紀子 清水 康子 藤原 雅子 安井 捷征 田中 宏子 富田 初枝 吾郷 明子	事業部 広報部 広報部 広報部 広報部 事業部 事業部	評議員・女性委員会副委員長 評議員・女性委員会幹事 理事・女性委員会幹事 女性委員会幹事	
監事	出雲 湖陵	森脇 章雄 春日 智徳			
	平田 平田 斐川 出雲 湖陵 斐川	金折 ゆき子 梶谷 治吉 坂本 光弘 木原 恭子 森山 恵子 原 真穂		副会長・女性委員会会長 理事 理事 評議員・女性委員会幹事 評議員・女性委員会幹事 評議員・女性委員会幹事	評議員・女性委員会理事

ニュースポーツPR事業

ニュースポーツPR事業が例年秋に開催されていたが、今年は4月28日に
出雲ドームでスポーツ&健康フェスティバル2013の一環行事として開催
された。

準備期間が短かったが、多くの委員さんの協力により『スポーツチャンバラ』
『フロート』『体力づくりコーナー』『輪投げ』『フライングディスク』のニュー
スポーツをスタンプラリー形式で楽しんでもらった。

特にフロートは人気があり、行列ができるほどだった。また、親子連れで輪
投げをしたり、夫婦でスポーツチャンバラを戦うなど、昨年より多くの市民の
皆さんにスポーツを楽しんでもらい、PR事業は大盛会で終了した。



出雲市スポーツ推進委員研修会

出雲市スポーツ推進委員研修会が5月31日に新人研修（今年は10名）を兼ね、28名が参加してくにびき大ホールで開催された。スポーツ推進委員の職務について説明があり、松江市スポーツ推進委員協議会常任理事の飯塚修氏より「スポーツ推進委員とは」の講義を受講した。



社会の急激な変化に伴い、地域スポーツ振興方策はこれまでにしても重要となっているが、スポーツ関連の法整備もされ、スポーツ推進委員に求められる役割の重要性や資質の向上が求められている。

スポーツ環境と地域ぐるみのキーマンとしてコミュニケーションを大切にしながら、スポーツとの出会いを大切に継続してできるように心掛けている。

「自らの資質向上に限界はない」「スポーツ推進委員が変われば地域が変わる」と話された。

その後、事業研修委員会のメンバーを中心にグループ討議に入り、短時間であったが活潑な意見交換が行われた。

新人の委員からは「話す事は苦手だが、子供を褒めるように心掛けて指導している」「資格を取得したい」等前向きな声が聞かれた。また、ベテランの委員は集まる人数は少なくとも気落ちせず、くじけず熱心に何回も指導する重要性を話された。

また、ニュースポーツの指導のための道具が不足しているとの不満の声も聞かれた。

中国地区スポーツ推進委員研修会

中国地区スポーツ推進委員研修会が、6月8日（土）9日（日）の両日、広島県福山市で開催された。出雲市からは森本敏雄会長を含めて6名の参加となった。

初日は開会式のあと、中国地区の功労者表彰並びに感謝状贈呈式が行われ、続いての基調講演では、健康アーティスト己抄呼さんの「己抄呼～Misako～の笑う体操！」と題しての講演があった。

また翌日の実技研修では「ろっ骨エクササイズ」といって、ろっ骨を動かすことによって、身体全体のバランスを整え、年をとっても健康を保っていくという健康法だそうだ。

実践発表では、北広島、雲南市、境港市の3市町から、スポーツ推進委員の活動状況及び今後の取り組み等について発表された。いずれの取り組みも推進委員単独であれ、公民館や、体協、総合型地域スポーツクラブなど、さまざまな団体と連携も取りながら、その地域の現況に合わせた形で、スポーツの普及・指導が行われていると報告があった。

今回の研修はもちろんであるが、今後も県、地区を含めて研鑽を積み、地域スポーツの活動などに活かしていきたいと考えている。

なお、今年度は中国地区体育指導委員協議会功労者表彰を、矢野慶治さん（出雲支部）、三成由美子さん（斐川支部）が受賞されました。おめでとうございます。



支 部 活 動

■多伎支部

事業名 高齢者クラブカローリング大会
日 時 平成25年6月15日(日) 9時～12時
場 所 多伎体育館
参加人数 18名 (6チーム) * 65才以上



本事業は、初めてスポーツ推進委員協議会多伎支部の自主企画で行ったため、今までの多伎コミュニティセンターまたは多伎町体育協会への共催・協賛とは違い、準備・宣伝広告に奔走した。

用具は、多伎コミセンおよび他の地区のコミセンから借用した。宣伝広告は、町内回覧用チラシを作成し、多伎町全域にPRを行った。また、各高齢者クラブ会長にチラシを郵送し、電話連絡にて参加申込みを募った。

参加者の中で、カローリングの初心者はずか1名であり、細かいルール説明は省略し、ゲームはスムーズにスタートした。

参加者はわきあいあいとゲームを進めながら、バタバタしたり、腰を曲げたり、座ったり、立ったり、考えたりと体を動かし「喜怒哀楽」のひとつきが過ごせたと思う。これこそ健康の秘訣かと？

当日、体育館内は蒸し暑かったが、参加者は真剣に一生懸命、ゲームに熱中していた。心配された熱中症も、準備された冷たいお茶と休憩により何事もなく無事ゲーム終了となった。

今回は、参加者が少なかったが、口コミなどにより、今後、参加者が増えることを願っている。

記：持田委員

■佐田支部

事業名 スポーツを好きになろう!!
～コーディネーショントレーニング～
日 時 平成25年7月14日(日)
13時～14時30分
場 所 佐田スポーツセンター
参加人数 24名 * 小学1～3年生限定



島根県サッカー協会出雲支部キッズインストラクター田中淳氏を講師に迎え、小学校低学年を対象とするコーディネーショントレーニングを行った。参加者は24名で町外からの参加も多数あった。

鬼ごっこ・ボールフィーリング・転がすドッチボールなどの運動を通して、目や耳を使い瞬時に動いたり止まったりし瞬発力を養い、できない事に向かっていく姿勢、あきらめない姿勢を学んだと思う。

当日は暑かったが、水分補給を十分に行い、さわやかな汗をかくことができた。

記：岩崎委員

全 体 事 業

■第6回四方綱引全国大会

第6回四方綱引全国大会が7月28日(日)島根県立体育館(カミアリーナ)で開催され、11名の委員が審判員・運営役員として参加した。

審判員は事前に審判講習会に参加し、競技ルールや審判方法などの研修を行い、技能向上を図った。

当日は、過去最多82チームの参加ということで、白熱した試合が繰り広げられた。各チームが競り合う場面も多く、勝利の瞬間を見極める我々も緊張の連続だった。

暑い中ではあったが、審判長を中心に連携の取れた活動を行い、大きなトラブルもなく大会を終了することができた。

来年度は更に多くの委員が参加し、大会を盛り上げていきたいと思う。



《編集後記》

初めてのことで苦労しましたが、打合せを4回行い、発行することが出来ました。年2回発行する予定です。今後も皆様のご協力よろしくお願いします。

広報部

《出雲市スポーツ推進委員協議会事務局》

担当：勝部(NPO法人 出雲スポーツ振興 21)
出雲市今市町北本町3-1-6(出雲体育館)
TEL：0853-21-1830